

(4) 公園・緑地計画

現状・課題

- 公園・緑地の現況
 - ・ 街区公園が7箇所(うち計画決定2箇所)整備されている。
 - ・ 都市緑地が3箇所(計画未決定)が整備されている。
 - ・ 地区の西側に生産緑地が多く存在している。
 - ・ 住宅地内に緑が多い。
- 公園・緑地に関する課題
 - ・ 公園の整備水準の向上及び緑の連続性の創出
公園の整備水準が低く、配置が偏っているため、さらなる整備が必要である。また、地区外の緑地との連続性を創出することが望まれる。
 - ・ 現在ある緑地の保全
住宅地の緑や農地などの現在ある緑地を保全・活用することが望まれる。

基本的な考え方

既存緑地を活用した公園配置	都市公園の整備水準を向上させるため、既存の緑地、樹林地及び農地などを活用した公園整備を検討する。
住宅地内にあるみどりの保全	樹木や生垣、草花などの住宅地にある緑を保全・創出するためのしくみを検討する。
地区外の緑地とのネットワーク形成	地区外の緑地とのネットワークの形成を図るために、湘南海岸やカントク跡地へのアクセスの向上などを検討する。

公園・緑地施策

ア.街区公園等の整備

- 街区公園等を確保し、地区内の整備水準を向上させる。
- ・ 地区の東側に点在する農地や低未利用地を活用する。
 - ・ マンション等の開発にあたって公園スペースを確保する。
 - ・ 大規模工場に隣接する緩衝緑地を公園的に活用する。

イ.良好な環境の維持・保全

住宅地の緑や生産緑地などの地区に残されたみどりを保全し、市街地との調和を図る。

東海道の松並木などの特徴的な緑を保全する。

ウ.みどりの軸の形成

辻堂駅から南北に向かうプロムナードと市境道路に街路樹などの緑を配置し、湘南海岸周辺とのみどりの連続性を創出する。

エ. まちなかにおけるオープンスペースの設置

まちなかの空地を活用したポケットパークの整備などにより、緑豊かな市街地を創出する。

主な事業

- 工場内緑地の公園的利用及び街区公園化
- マンション等開発に伴う公園設置の指導
- 地区に残された緑の保全
- 小和田辻堂線(浜竹通り)の再整備＜再掲＞
- 市境道路の整備＜再掲＞
- 空き地を活用したポケットパーク等の整備

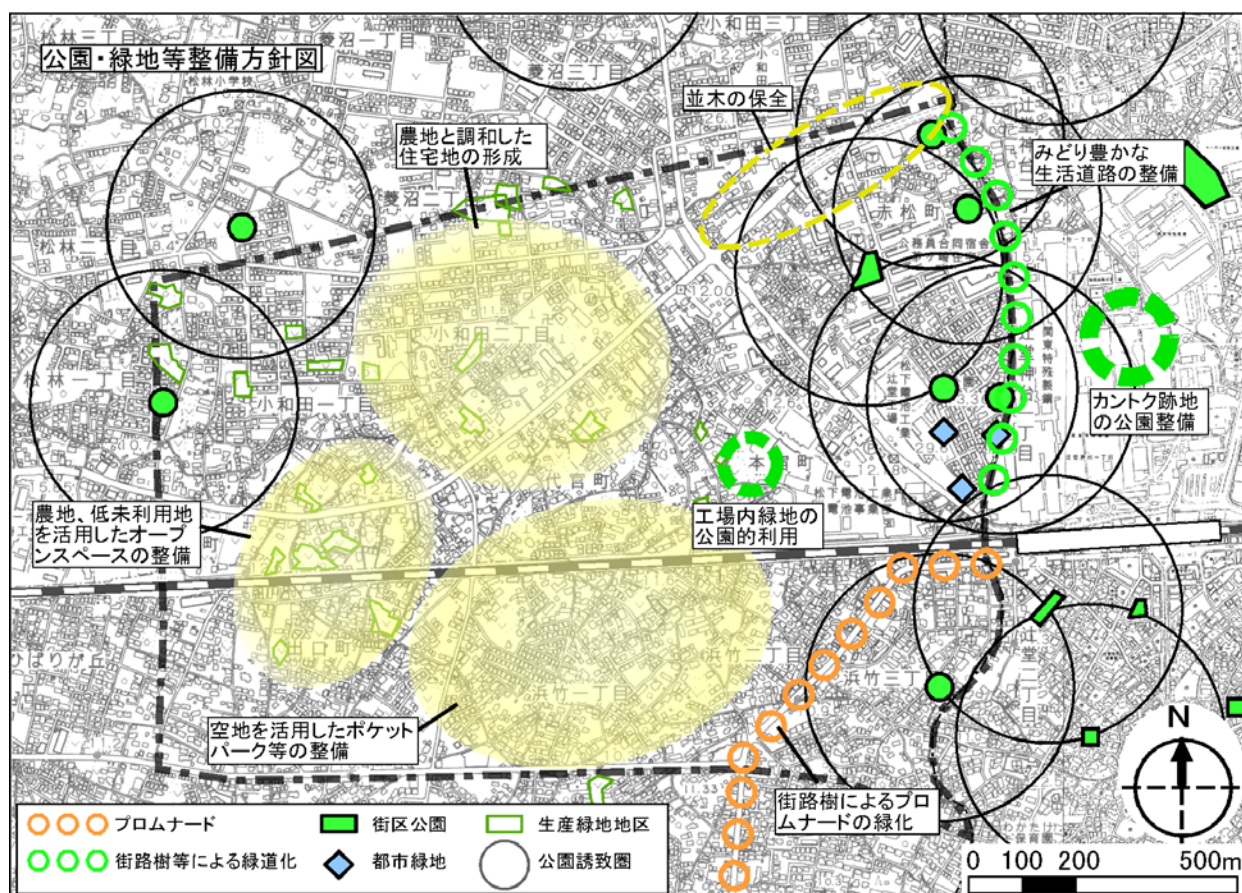


図 4.5 公園・緑地整備方針図